



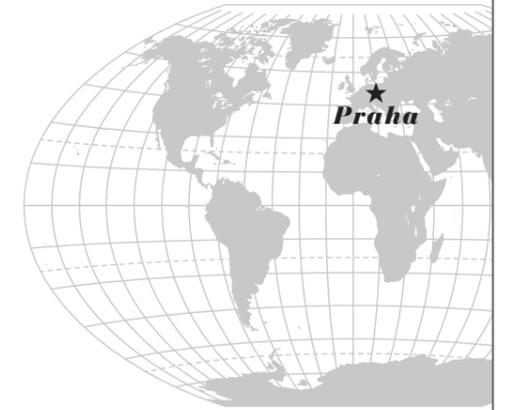
外観全景

Yankee Candle チェコ新工場

ヨーロッパ竹中チェコ支店 プロジェクトマネージャー

ヤロスラブレutz

Jaroslav Lenc



チェコ共和国について

チェコ共和国は、なんといっても「街全体が世界遺産」といわれる首都・プラハが有名で、世界中から年間を通じて四、五〇〇万人以上が訪れる国際的な観光都市である。

他にも、憲法裁判所、最高裁判所、最高検察庁など国家機関が設置され第二の都市といわれるブルノ、十九世紀には石炭の採掘で栄えた工業都市・オストラヴァなど、歴史ある街が点在するチェコ共和国。

数百年の時を経た今でも美しく残る歴史的な名建築の数々、そしてスメタナやドボルザークに代表される名作曲家を生んだ芸術の街は、昔も今も変わらず世界中の人々を魅了し続けている。

プロジェクト概要

当プロジェクトは、アロマキャンドル・フレグランスメーカー、Yankee Candle社の新工場を建設するものである。

同社は米国でのアロマキャンドル製造最大手といわれ、年間約二億個を生産し、世界各国の三五、〇〇〇店で販売している。欧米で拡大しつつあるアロマキャンドル市場の大きな成長の可能性を見据え、国外で初となる工場の建設を

にはブロックと石膏ボードの混合壁を採用した。あらゆる工夫による工事の簡略化と効率化を図り、工期・コストともにお客様の期待に応える工場を無事故無災害で完成させることができた。

ローカルスタッフの活躍

当プロジェクトは、営業活動から竣工後の引渡しまで、ローカルスタッフがチームの中核として支えている。

二〇一六年に設立二〇周年を迎えたヨーロッパ竹中チェコ支店では、工場、事務所、研究開発施設など幅広い用途のプロジェクトを手掛けてきた。部門を超えたチームワークの醸成や、



プラハ旧市街を流れるモルダウ川からプラハ城を望む

決定し、建築地としてチェコ共和国を選定した。当工場は約三三、〇〇〇平方メートル、地上三階建ての生産棟・流通センター・事務所棟からなる生産施設である。設計にあたっては、機能の異なる各棟を、共通解である「簡潔性 (Simplicity)」を重点にし、外壁に金属断熱パネルを施すことで一体感を醸し出すデザインとしている。施工にあたっては、着工から引渡しまで八カ月という短工期のなか、ドッグレベラー、階段、EVシャフトなどの工場製品化、防火区画

ヨーロッパの各支店が集まりノウハウを共有する取組みを継続することで、技術知識や経験、更にはお客様からご期待いただく「竹中らしさ」への理解を脈々と継承している。現在約七〇名のローカルスタッフのうち、勤続一〇年以上のベテランは半数以上を占め、非日系プロジェクトに挑戦するうえで中心的な役割を担っている。

土地選定のサポート、設計・施工・建築・設備担当が一丸となった高い対応力など、当社ならではの強みを生かし、多様なお客様ニーズにあわせた最適なソリューションを提供していきたい。



関係者による集合写真



事務所棟エントランス

